

### 編集後記

今年には東日本大震災と福島原子力発電所事故という世界に類を見ない大惨事が起きた。国民にとって安全安心が損われた未曾有の事件である。今後どのように復興するのか未だ見当がつかない。医療の面でも多くの人たちが関係していて、医療ボランティアなどの報告が出てきた。これらの資料はやがて、災害医療史や放射線医療史の貴重な研究材料になるかも知れない。紙一枚の報告書でも収集保存する機関ができることを望む。日本医史学会でもその働きかけをすべきかも知れない。

平成23年度の科学研究費が100万円助成されることに決まった。広告などのスポンサーが付きづらい本学会としては有難い。学会誌の一層の充実に努力したい。

11月に入り残念な知らせが届いた。財団法人日蘭学会が資金不足で解散するという。わが国の近世・近代の医学に大きな影響を与えた蘭学の歴史を研究する学会として大事な学会である。日本医史学会の会員も少なからず入っている。関連の学会がなくなると手足をもぎとられた感じがする。

(蔵方 宏昌)